

数学

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
数学	数学C	2	3年次・K	選択科目
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
新編 数学C（数研出版）		Study-Upノート 数学C		自然科学 数学I履修

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
ベクトル，平面上の曲線と複素数平面について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習計画と観点別評価項目

学年	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1	第1章 ベクトル	第1節 平面上のベクトル 1. ベクトル 2. ベクトルの和 3. ベクトルの差 4. ベクトルの実数倍 5. ベクトルの成分 6. ベクトルの成分と演算 7. ベクトルの内積 8. 内積の性質 節末問題	4 5	向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し，成分表示も含めてベクトルの演算ができるようにする。また，ベクトルの内積について理解し，平面上のベクトルのなす角について考察できるようにする。	1 3 1 3 1 1 3 1 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1
	2	第2章 複素数平面	第2節 ベクトルと平面図形 9. 位置ベクトル 10. ベクトルと図形 11. ベクトル方程式 節末問題 第3節 空間のベクトル 12. 空間の座標 13. 空間のベクトル 14. ベクトルの成分と演算 15. ベクトルの内積 16. 位置ベクトル	6 7	位置ベクトルについて理解し，位置ベクトルを図形の性質を調べるのに活用できるようにする。また，図形をベクトルを用いて表せることを理解し，基本的な図形のベクトル方程式を求めたり，ベクトル方程式が表す図形を求めたりできるようにする。 平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え，空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。また，それに関連して，座標空間における点や図形について考察できるようにする。	1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 1 3 1 2 3 1 3 1 2 3 1 2 3 1
学年	1	第1章 ベクトル	第1節 平面上のベクトル 1. ベクトル 2. ベクトルの和 3. ベクトルの差 4. ベクトルの実数倍 5. ベクトルの成分 6. ベクトルの成分と演算 7. ベクトルの内積 8. 内積の性質 節末問題	4 5	向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し，成分表示も含めてベクトルの演算ができるようにする。また，ベクトルの内積について理解し，平面上のベクトルのなす角について考察できるようにする。	1 3 1 3 1 1 3 1 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1
	2	第2章 複素数平面	第2節 ベクトルと平面図形 9. 位置ベクトル 10. ベクトルと図形 11. ベクトル方程式 節末問題 第3節 空間のベクトル 12. 空間の座標 13. 空間のベクトル 14. ベクトルの成分と演算 15. ベクトルの内積 16. 位置ベクトル	6 7	位置ベクトルについて理解し，位置ベクトルを図形の性質を調べるのに活用できるようにする。また，図形をベクトルを用いて表せることを理解し，基本的な図形のベクトル方程式を求めたり，ベクトル方程式が表す図形を求めたりできるようにする。 平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え，空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。また，それに関連して，座標空間における点や図形について考察できるようにする。	1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 1 3 1 2 3 1 3 1 2 3 1 2 3 1
	3	第3章 複素数平面	17. 空間図形への応用 節末問題、章末問題	9		1 2 3 1
学年	1	第1章 ベクトル	第1節 平面上のベクトル 1. ベクトル 2. ベクトルの和 3. ベクトルの差 4. ベクトルの実数倍 5. ベクトルの成分 6. ベクトルの成分と演算 7. ベクトルの内積 8. 内積の性質 節末問題	4 5	向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し，成分表示も含めてベクトルの演算ができるようにする。また，ベクトルの内積について理解し，平面上のベクトルのなす角について考察できるようにする。	1 3 1 3 1 1 3 1 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1
	2	第2章 複素数平面	第2節 ベクトルと平面図形 9. 位置ベクトル 10. ベクトルと図形 11. ベクトル方程式 節末問題 第3節 空間のベクトル 12. 空間の座標 13. 空間のベクトル 14. ベクトルの成分と演算 15. ベクトルの内積 16. 位置ベクトル	6 7	位置ベクトルについて理解し，位置ベクトルを図形の性質を調べるのに活用できるようにする。また，図形をベクトルを用いて表せることを理解し，基本的な図形のベクトル方程式を求めたり，ベクトル方程式が表す図形を求めたりできるようにする。 平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え，空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。また，それに関連して，座標空間における点や図形について考察できるようにする。	1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 1 3 1 2 3 1 3 1 2 3 1 2 3 1
	3	第3章 複素数平面	17. 空間図形への応用 節末問題、章末問題	9		1 2 3 1

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

		第3章 式と曲 線	第1章 2次曲線 第1節 2次曲線 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線	12	放物線、楕円、双曲線の定義や性質を理解し、それらを図示したり、問題の解決に活用したりできるようにする。また、離心率を用いて2次曲線を統一的に捉えられるようにする。	1 2 3 1 2 3 1 2 3
	3 学 期		4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線 節末問題	1		1 2 3 1 2 3 1
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○学習内容（定義、公式や定理）を理解できているか。 ○解法を理解できているか。 ○問題を解くことができているか。また、答えを正しく求めることができているか。		○学習内容を理解しようとしているか。 ○学習内容を適切に活用できているか。 ○解法を適切に式で示すことができているか。 ○学習内容を関連付けて考えることができているか。		○学習内容に興味、関心をもち、内容を考察し、自ら調べようとしているか。 ○積極的に問題に取り組んでいるか。 ○日常の事象や社会の事象などに学習内容を関連付け、活用しようとしているか。
	手 段	・例題、練習、発展問題、課題 ・小テスト、定期考査などの試験		・例、練習、発展問題、課題 ・小テスト、定期考査などの試験		・例、練習、発展問題、課題 ・授業中の取組状況 ・小テスト、定期考査などの試験
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。			
	学習上の留意点					
・毎時間、積極的に学習に取り組むこと。 ・提出物は、内容を確認しできていることを確認して期日厳守で提出すること。 ・定期考査では、しっかりと復習をして臨むこと。						